

始祖内大臣足○鎌扶持宗廟保安社稷淡海公比○不手草詔勅筆削律令興佛法詳帝範其後后妃丞相積功累德寔繁有徒矣建興福寺法華寺開勸學院施藥院忠仁公房○長始長講會昭宣公經○基點木幡墓所貞信公平○忠建法性寺修三昧九條右相府輔○師建楞嚴院修三昧先考建法興院修三昧此外傍親列祖之善根德本不遑稱計方今時々詣墳墓爲建寺指點形勝略○中今日擇曜宿始法華三昧刻十月定星之期廻萬代不朽之計于時蒙霧開愛日暖可謂天地和合風雨不違祖考感應垂冥助之令然也略○中弟子某歸命稽首敬白

寛弘二年乙巳十月十九日午甲

左大臣

〔榮花物語疑十五〕そのをりは左大臣道○藤原にてぞおはします此寺の名をば淨妙寺とぞつけられたること々もはて殿の御まへをはじめたてまつり藤氏の殿ばらみな御誦經せさせ給僧ども祿たまはりてまかりいでぬおほかたこの事のみならずとし比まあつめさせ給へる事かすまらずおほかり正月より十二月までそのとしの中の事ども一事はづれさせたまはずこのをりふしいそぎあたりたるさるべき僧達寺々の別當所司をはじめよろこびをなしいのりまうす略○中あはれなる末の世にかく佛をつくりだうをたて僧をとぶらひちからをかたぶけさせ給佛法のともし火をかゝげ人をよろこばせ給て世のおやとおはします我御身はひとつにて三代のみかどの御うしろみせさせ給て六十よ國六齋日に殺生をとめさせ給ふよき事をばすゝめあしきことをばとめさせ給かゝる程に衆生界つき衆生の切つきんよやこの代もつきさせ給はんどみゆ略○中世の中にある人たかきもいやしきも事とこゝろとあひたがふものなりうべ木まづかならんと思へど風やまらず子けうせんと思へどおやまたず一切せけんにならざる物はみな死す壽命無量なりといへどかならずつくる期ありさかりなる物はかならずおどろふかうはいする物はわづらひありほうとしてつねなる事なしあるは昨日さかえてけ